



ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

MUSASHIGAOKA



elementary school

校長 根本

～離れたくない～

井上鶴嗣さん

出会いを大切にした6年生の学びから

～薬物はダメ、絶対！～

薬物乱用防止教室

～世界に目を向けて～

二殿学校教育アドバイザー



中国残留日本人である井上鶴嗣さんは、人権教材「きずな」の中にある『離れたくない』のモデルにもなった方です。その井上さんから直接お話を聞くことができました。「家族と離れたくない」という強い思いで、仲間とともに行動していった井上さんの生き方に、子どもたちは触れることができました。「戦争は絶対反対！平和が一番」という井上さんの言葉に、6年生の平和学習はこれからも続きます。

子どもたちの健やかな成長のために、学校薬剤師の渡邊克彦先生から、薬物が脳に与える影響や依存症についての講話や、進められた時の断り方について演習をしていただきました。様々な誘惑があってもきっぱりと断ることができ、力がとても大切なことであることを子どもたちは学ぶことができました。最後に薬剤師の仕事についても紹介していただきました。

「日本人学校に赴任したい！」という夢が叶い、南アフリカ共和国のヨハネスブルグ日本人学校の校長先生として3年間南アフリカ共和国で生活された二殿先生から、そこで体験されたことや感じたことをお話しいただきました。最後に「いつも大きな夢をもって世界に羽ばたいてほしい」というメッセージもいただきました。これからも楽しく外国語の学習をし、世界に目を向けてほしいと思います。

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第37回菊陽町人権子ども集會が開催されました！



今年度もリモートでの開催となりましたが、武蔵ヶ丘小学校はこの集會で「ちがいをゆたかさに」というテーマのもと、多文化共生教育の中で学んだ「きらきら星」や「茉莉花」(モーリーホア)の中国語での歌、運動会での3か国語放送やパンダの会の活動の紹介、また、6年生の「本当のことを知り、自分を見つめ、つながりあっていく取組」を動画発表しました。また、他校の発表も視聴し、参加した子どもたちにはたくさんの学びがありました。これからも「なかま」とともに身の回りの差別をなくす取組を進めていきます。

1年生が育てたお芋がキャラメルポテトに大変身！



12月3日の給食の献立には、キャラメルポテトが登場しました。これは1年生が収穫したサツマイモを使って給食の先生方が作ってくださったものです。自校給食ならではのですね。甘くてとても美味しかったですよ。

～第2回学校運営協議会を実施しました～

先月の11月14日、日曜参観の日に合わせて、第2回学校運営協議会を実施しました。会員の皆様に授業を参観していただきましたが、「保護者の参加も多く活気がありよかった」「子どもたちの目がきらきらしていた」などのご意見をいただきました。また、学校に期待することや一緒に取り組んでいけること等についてもご意見をいただきました。現在、運営委員会の子どもたちが取り組んでいる「この♡何だ？プロジェクト」についても評価いただき、嬉しく思いました。第3回は3月に実施予定です。

